

H28 サンマパーティ報告

- ・実施日 2016 11/7(月)～8(火)
- ・場 所 ビラデスト今津（近江今津）
- ・参加者（21 名） <§：夫婦で参加>
金岩⑤、伊豫⑧、高水間⑧、篠島⑧、島林⑩
藤井⑩、畔山 § ⑪、加藤 § ⑪、森川⑪
野村⑫、赤地 § ⑫⑭、上馬⑮、高村⑮
宇野 § ⑮、間所 § ⑮、三宅⑮

・報 告

秋の風物詩、サンマを炭火焼きで食べるという庶民的パーティである。毎年、小川さんが松茸を持って参加してくれたことは、今となっては懐かしい思い出である。



<天空に立つ 2016 サンマP用会場>

今年 6 月初旬、15 期金井さんと近江今津の山中のカキツバタ自生地を見に行った。要入園料とあったので 300 円払ったのに花は終りだった。そこで、入園料分を取り返すべくウロウロしているうちに偶然出くわしたのがこの施設だった。山上なのに、芝生が広がり、眼下に竹生島が浮かび、そこにちょっと洒落た可愛い家が建っていた。まるで天空の公園ではないか。しかし季節の良いときは予約で埋まっているとの職員の強気な発言。しかも、繁忙期、休日は五割増しなのだ。でも、魅力的な場所と思った。

10 月は各同期会やトロッコPWなどの行事が詰まっている。実施日を 11 月の値段の安い平日と決め、前日 1 棟、当日 4 棟を予約した。勤労者には申しわけないが、今やほとんどが土日に家族行事にしばらくの高齢者なのだ。とにかく初めての場所なので、宿泊下見が必要。福井に転住した間所さんに連絡すると二つ返事でOKが返ってきた。4 人で 1 棟だから金がかかるが仕方ない。参考とすべく、晩飯は国産牛のステーキ定食、朝はコテージまで運んでくれる朝食も頼んだ。

「焼き加減はどうしましょうか？」 さすがに近江牛の県だけのことはある。それぞれの好みの焼き加減を伝え、大いに期待した。

しかし、出てきた肉は焼き加減とは関係が無いような 5mm ぐらいの薄さの肉だった。値段が 3,500 円なのだから、そんなものと合点できた。

880 円の朝食もしかりであった。本番では食事は自分たちで作るべきだと思った。下見は平日だったのに、大学生の団体があり、我々が泊まったのは正六角形の構造をした二階建てだった。しっかりとした建物は、居心地が良い。ただ寝室となる二階の 6 畳間は、60° の角度を持つ平行四辺形。ここで 4 人の布団を敷くのにも四苦八苦。パズルを解くくらいに難しかった。本番では、平屋のコテージを狙うべしと心に誓った。

「11 月は寒いですよ・・・。」その上BBQコーナーの屋根や覆いなどは冬支度のため取り外すというのだ。職員からは、BBQはしてほしいというオーラが出ている。客のために屋根や覆いの取り外しを少し遅くしてあげようとの気持ちが伝わってこない。

なんとお役所対応と思ったが、青春時代を雪国で暮らした我々にとっては、寒さは威嚇にはならない。雪の降る中で鍋をした実績もある。それをふまえてBBQコーナーもしっかり予約した。偶然にも実施日のコテージ、BBQコーナーともにほぼ貸切状態になるという朗報も入手した。いくら強気の我々でも 11 月ともなれば、夕刻前には寒くなることを知っている。さすれば、BBQは遅い昼飯と設定するのが無難だろうと思った。



<天空の広場で集う運営委員たち>

いよいよ準備も本番となった。いつもの運営委員に声をかけたら、前日からの宿泊しても良いという人が 11 名となった。この人数なら前日から 2 棟借りることができ運営はなおさら楽になる。さらに畔山、三宅、間所の

3氏が車、調達機材などの提案をしてくれ、大いに助かった。食材の調達は当日の11/7に近江今津の平和堂でと計画したが、当日は臨時休業とわかり、11/6に調達と決めた。

11/6、11時JR近江今津駅に運営委員11名が集合。平和堂で朝食と食材調達。肉は三宅さんの助言で近江牛の専門店で調達した。これで、3,500円のステーキ定食を越えられるはずである。前日の夕食は、宇野さんの「おでん」と森川さんの「すき焼き」が対立したが、人数も多いことから、それに寄せ鍋を加え3種の鍋を作ることになった。ただし、すき焼きの肉は上等の近江牛を使うので、全員が公平に食べられるように清貧者が鍋奉行を務めることになった。会計も前日と当日とが混同しないように別会計とし、前日は間所さんが、当日は畔山さんが担当した。結果的には、前日の会計で約5,000円の残金が出たので、当日会計に寄付することになった。

実施日の11/7は前日の強風が嘘のような穏やかな快晴日。朝の散歩のあと、13時にはBBQが開始できるように運営委員男組は設営、女組は調理に取り掛かった。

送迎バスには宇野さんが乗り込み12時半頃には全員現地集合完了。荷物は前日のからの2棟に置き、予定通りの13時、金岩さんによる挨拶、高水間さんによる乾杯でBBQが開始できた。このBBQコーナはタイル張りの置き台がある立派なもので、10人が同時にゆったりと座れる大きさである。



<BBQに興じる人々>

基本的には自分が食べるものは自分で焼くことを原則に、サンマ1匹、パック入りの100gの肉は直接各自に配当した。特に肉は近江牛だったので、慎重に焼いてくれていたようである。食べるほどに飲むほどにしゃべるほどにあっという間に2時間半が過ぎた。

ここで、明日勤務があるという高村さんと宇野あっちゃんは帰っていった。

予定ではBBQのあとはお茶会であったが、風呂は明るいうちの方が良からうということで、大浴場に向かった。が、園地には誰も居ない。ならば童心に還るのも楽しからうということになり、遊具で遊ぶことになった。琵琶湖を眼下に爽快だった。



<楽しかった2016サンマP>

風呂から出ると外は薄暗くなっていた。お茶会は本部和室で17時半開始。たくさんの差し入れがあり、何服もいただいた。大勢の人が居るにも拘らず、森川さんの指揮のもと美智代さん知栄子さんの手際よさが光った。

その後は、スライド室で活動報告。スクリーンは大画面。費用はかかったがさすがに迫力があつた。畔山さんの近畿支部の活動報告はBGM入りの力作だった。続いて野村さん、篠島さん、金岩さんが発表した。

BBQ終了が3時半頃だったので、小腹がすいた頃、本部では女性の手になる特性カレーが夜食として準備された。汗をかくくらいに辛かったが、大根による知栄子特性酢漬けや蒲鉾がちょうど辛さを中和してくれた。

スライド室へ移動すれば酒場、酒飲みだけではなくほぼ全員が集まり、ほろ酔い気分ひたっていた。ふたつの棟を行ったり来たりの企画となったが、部屋が空くことで後片付けもスムーズに出来、参加者は気分転換にもなり、ゆったりと過ごせた気がする。

翌朝は山にうっすらと霧がかかっていた。紅葉の見頃を迎えた天狗岩まで案内し、10時半頃送迎バスを依頼し現地解散した。

初めてのビラデスト今津だったが、概ね好評だった。費用も1万円徴収したが、2,500円返金することができた。

(文責 加藤忠好)